

平成30年度 不祥事防止対策に係る研修計画

海田町立海田西小学校

【不祥事根絶に向けた本校の決意】

海田西小学校の職員は、全力で、チームで、子どもたちを育てます。

- 1 (使命) 私たちは、子どもたちを守り育てます。
- 2 (遵法) 私たちは、法令を遵守します。
- 3 (公正) 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 (公開) 私たちは、地域に開かれた学校にします。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	研修等計画	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事に対する当事者意識が十分とは言えない。	○不祥事が自分の周りで起こったら、どう対応するのか当事者意識を持って捉えるようにする。 ○「机の上を整理整頓する」「時間を守る」など、すぐに実行可能な事項を全教職員で徹底する。	○記者発表資料や新聞記事等を活用し、タイムリーな指導・注意喚起を繰り返し行っていく。 ○「ヒヤリ ハット」の事例を出し合い、教職員がお互いに注意喚起し合う。 ○定期的に机上等を整理整頓する日を設定し整理整頓に努めるなど、できることを徹底する。	○サービス研修計画に沿って研修を計画的に実施する。 ○職朝、暮会等でタイムリーにサービス研修を行う。	○教職員用にチェックリストを学期に1回程度行う。 ○面談時のヒアリング。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止は学校全体(組織)で取り組むという意識が十分とは言えない。	○本校の方針や取組目標・行動目標を全教職員で共有する。 ○不祥事を起こさず、教育に全力を注ぐ学校風土・文化の確立をめざす。	○不祥事根絶に向けた決意表明カードを全教職員で再度確認する。(職員室掲示と常時携帯) ○定期的に不祥事防止委員会を開き、教職員から情報を吸い上げ、未然防止の取組を主体的に考える機会を持つ。	○不祥事防止委員会を月に1回は行う。	○毎月実施している不祥事防止委員会で、取組の振り返りを行う。 ○校内の状況把握を行い、未然防止につなげる。
相談体制の充実	○「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について学校だより等で周知しているが、認知度が低い。	○「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」を繰り返し周知し、いつでも相談を受け入れる体制をつくる。	○学校だより, ホームページで保護者等に再度周知するとともに, 担当教職員を明記した相談窓口のポスターを校内に掲示する。また, いつでも相談できることも保護者にしっかり周知する。 ○アンケート等により, 実態把握に努め, 未然防止と早期解決を図る。 ○日常から小さなことでも報告・連絡・相談を行い, チームで対応していく。	○定期的に窓口を周知する。 ○定期的に実態把握をする。 ○相談に対する対応の仕方等について共通理解を図る。	○学期に1回, 児童・保護者を対象にアンケートを実施し, 全児童と面談をする。